

行政の問題解決のための全体最適セミナー

『高齢化社会と保育園待機児童を考える』の開催

日程：2017年2月25日（土）10:00～17:00

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー1階1011教室

協力：全体最適の行政マネジメント研究会

厳しい経済環境、そして限られた予算の中で、いかに国民に優れたサービスを提供していくか。行政につきつけられた、この厳しい課題は、近年ますます大きくなってきています。行政に対する批判がますます強くなる中、さらに仕事は複雑・多様化してきています。その中で、限られたリソースで、国民の方々に、優れた行政サービスを提供するためには、優れたマネジメント力が求められています。これまで、行政の世界では、そうしたマネジメント能力を身につけ、さらに向上させるという問題意識はあっても、それを学ぶ機会は必ずしも十分ではなかったのではないかと考えられます。

当セミナーは、世界最高水準の全体最適のマネジメントサイエンスである TOC[※] (Theory Of Constraint) を使い、参加者の方々が持っている現実の問題を解決していくことで、実践的なマネジメント力が身に付くことを目指しています。

今回の取り組む行政課題は、「高齢化社会」と「保育園待機児童」の問題。社会問題にもなっている問題です。行政関係者も市民もみんな解決しようとして一生懸命頑張っている。しかし、思ったような成果がでないということは、そこに何らかの思い込みが潜んでいて、それが問題解決の障害になっているのかもしれない。TOCの思考プロセスのツールを活用して、いつものようにみんなで、その思い込みを見つけ、ブレークスルーの発想のを見つけたいと思っています。

※TOC(制約理論)：全体最適を実現するために、制約に集中して マネジメントすることで解決策を導く理論体系です。イスラエルの物理学者、エリヤフ・ゴールドラット博士によって開発されました。

参加申込：全体最適の行政マネジメント研究会・事務局（下記 URL へ）

<http://www.kokuchpro.com/event/toc20170225tokyo/>

参加費：無料

お問い合わせ先
同事務局 mail@tocgyousei.org